

# FUJITSU Software

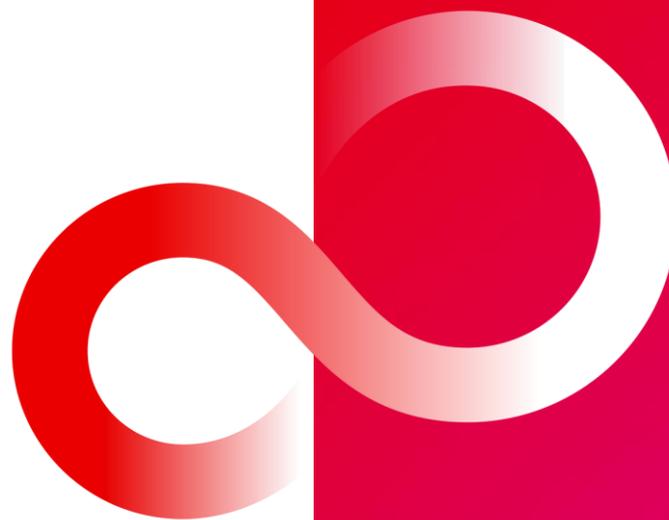
シンプリア ティーエフ・リンダ

## SIMPLIA TF-LINDA

### ご紹介

第35.1版

富士通株式会社

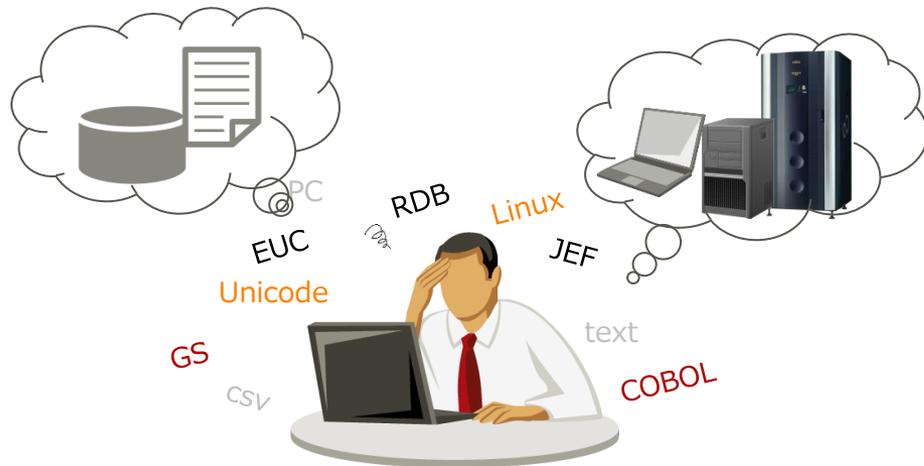


1. テストデータ作成の問題点	・ ・ ・	3
2. SIMPLIA TF-LINDAのご紹介	・ ・ ・	4
3. 対応プラットフォーム一覧	・ ・ ・	5
4. SIMPLIA TF-LINDAの機能別対応製品	・ ・ ・	6
5. SIMPLIA TF-LINDAの操作の流れ	・ ・ ・	7
6. 新製品紹介	・ ・ ・	8
7. 機能紹介	・ ・ ・	13
8. プログラムサポートサービス	・ ・ ・	24



# 1. テストデータ作成の問題点

- テストデータを作成する上で様々な問題点があります。



- 簡単に作成したい
- 大量のデータを作成したい
- 異なるプラットフォームで使用したい
- テスト結果のデータを検証したい



## これらの問題点をSIMPLIA TF-LINDAが解決します

- テストデータ作成のコストを軽減します。
- 環境を意識せずに、PC上からテストデータ作成/検証作業ができます。
- 豊富なデータ編集/検証機能で、データ作成を効率化できます。またデータ検証の品質が向上します。

## 2. SIMPLIA TF-LINDAのご紹介

ソフトウェア開発において、テスト工程はその品質と信頼性を左右する重要な要素の一つです。『SIMPLIA TF-LINDA』は、テストデータを汎用的に作成できるテストデータ作成/検証支援ツールです。

従来、テストデータの作成に費やしていたコストを軽減できます。

テストデータを作成する環境（プラットフォーム、データ種別、文字コード）が複数ある場合、PC上から同じ操作でテストデータ作成/検証作業ができるため、導入コストが削減できます。

データ編集/検証のための豊富な機能により、データ作成作業の効率化、検証品質向上を支援します。

各プラットフォームに対応した製品を用意しています。

PCクライアント、Windowsサーバ、Solarisサーバ、Linuxサーバ上にあるデータを扱えます。



PC



Windowsサーバ



Solarisサーバ  
Linuxサーバ

各データ種別に対応した製品を用意しています。

COBOLファイル、Oracleデータベース、Symfowareデータベースを扱えます。



COBOL  
ファイル



Oracle  
データベース



Symfoware  
データベース

各種文字コードのデータ編集が可能です。

SJIS、EUC、Unicode、JEFで作成したデータを扱えます。

# 3. 対応プラットフォーム一覧

対象資産、プラットフォームごとに製品を用意しています。

	Windows (スタンドアロンPC)	Solaris サーバ	x64-Linux サーバ
<b>スタンドアロン版</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• SIMPLIA TF-LINDA (32bit)</li><li>• SIMPLIA TF-LINDA (64bit)</li></ul>			
<b>COBOL連携版</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• SIMPLIA TF-LINDA (COBOL)</li></ul>			
<b>RDB連携版</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• SIMPLIA TF-LINDA (Symfoware)</li><li>• SIMPLIA TF-LINDA (ORACLE)</li></ul>		 	

# 4. SIMPLIA TF-LINDAの機能別対応製品

	スタンドアロン版	COBOL連携版	RDB連携版
<b>データ作成/編集機能</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"><li>豊富な編集機能による、データ作成/編集作業の効率化</li><li>16進数（バイナリデータ）やUnicode固有文字など、特殊/異常データの作成</li><li>データの自動生成、大量データの一括作成</li></ul>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
<b>データ検証機能</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"><li>豊富なデータ抽出機能により、対象となるデータの絞込みが容易</li><li>データの検索機能、ソート機能により、データの特定が容易</li><li>データの印刷機能による、机上検証が可能。納品ドキュメントなどへの流用</li><li>SQL文の直接実行機能による、柔軟な問い合わせ、データ検証が可能</li></ul>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
<b>データベースサポート機能</b>			<input checked="" type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"><li>データベースへのロード・アンロード処理をTF-LINDA上から実行可能</li><li>データベース定義情報（表一覧/列一覧/インデックス一覧）の確認が可能</li></ul>			<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
<b>監査・ログ機能</b>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"><li>接続中のユーザ情報、使用中の資源情報などを表示可能</li></ul>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<b>データインポート・エクスポート機能</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"><li>異なる文字コード/ファイル形式へのエクスポート、インポートが可能</li></ul>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

# 5. SIMPLIA TF-LINDAの操作の流れ

各製品の操作の流れは以下のとおりです。

スタンドアロン版

COBOL連携版

RDB連携版

## サーバプログラムの起動

- ・ TF-LINDAサーバプログラムを起動します。

## サーバへの接続/認証

- ・ クライアントから接続処理を行います。  
(ユーザID/パスワード認証)

## 編集対象資産の選択

- ・ 編集対象となる資産の指定を行います。(ファイル名(表名)、ファイル編成、文字コードなど)
- ・ データ抽出(絞込み)のための条件を指定します。

## データの作成/編集作業

- ・ データの作成、更新などの編集作業を行います。大量データを一括して生成できます。

## データの保存

- ・ 編集内容を保存します。  
(この操作を行うまでは、実際のファイル、データベースへの変更は行われません。)
- ・ 更新時にエラーが発生した場合、エラー内容の通知とエラー箇所が表示/修正ができます。

## サーバからの切断

- ・ クライアントから切断処理を行います。

## サーバプログラムの終了

- ・ TF-LINDAサーバプログラムを終了します。

## スタンドアロン版TF-LINDA (64bit) V81

- 最新OSをサポートしました。
  - Windows 10、Windows Server 2019に対応しました。
- V80L11に対し、以下の機能を追加しました。
  - 文字コードUTF-16（サロゲート文字を含む）のCOBOLデータファイルに対応しました。



## スタンドアロン版TF-LINDA (32bit) V81

- 最新OSをサポートしました。
  - Windows 10、Windows Server 2019に対応しました。
- V80L11に対し、以下の機能を追加しました。
  - 文字コードUTF-32のCOBOLデータファイルに対応しました。
  - 文字コードUTF-16（サロゲート文字を含む）のCOBOLデータファイルに対応しました。
  - 利用者定義変換テーブルを用いたデータの変換処理に対応しました。



# COBOL連携版TF-LINDA (Linux 64bit) V81

- 最新OSをサポートしました。
  - Windows 10、Windows Server 2019に対応しました。
  - RHEL7に対応しました。
- V50L41に対し、以下の機能を追加しました。
  - 文字コードUTF-32のCOBOLデータファイルに対応しました。
  - 文字コードUTF-16（サロゲート文字を含む）のCOBOLデータファイルに対応しました。
  - 利用者定義変換テーブルを用いたデータの変換処理に対応しました。
  - Unicode文字によるデータの入力に対応しました。
  - JEF拡張漢字の表示と入力に対応しました。
  - IPv6環境下での動作に対応しました。

# COBOL連携版TF-LINDA (Solaris) V50

- 最新OSをサポートしました。
  - Windows Server 2019、Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012に対応しました。
  - Oracle Solaris 11に対応しました。
- V50L70に対し、以下の機能を改善しました。
  - クライアント側インストール先フォルダのセキュリティを強化しました。
  - 本製品が出力するメッセージを改善しました。
  - ユーザーズガイドの記述内容を改善しました。

# RDB連携版TF-LINDA (Solaris) V50 【Symfoware連携版】

- 最新OSをサポートしました。
  - Windows 11、Windows 10、Windows 8.1  
Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016  
Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012に対応しました。
  - Oracle Solaris 11に対応しました。
- V50L24に対し、以下の機能を改善しました。
  - クライアント側インストール先フォルダのセキュリティを強化しました。
  - 本製品が出力するメッセージを改善しました。
  - オンラインマニュアルの記述内容を改善しました。

1 データ作成/編集機能

2 データ検証機能

3 データベースサポート機能

4 監査・ログ機能

5 データインポート・エクスポート機能

# 7-1. 機能紹介 (データ作成/編集機能)

スタンドアロン版

COBOL連携版

RDB連携版

- 豊富な編集機能を利用すると、データを効率よく作成・編集ができます。
- 補助編集機能を利用すると特殊/異常系データを容易に作成できます。

## メイン編集画面

データ編集作業を行うメイン画面です。  
用途に応じた2種類の編集画面を用意しています。

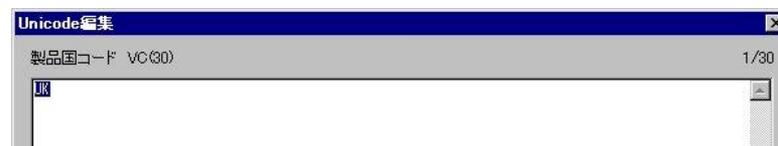
【一覧形式画面】  
データを一覧表示しながら編集ができます。

項目名	属性	伝票番号	製品コード	製品名	相番	データ内容
1		T9510-A-01	H274920183	バーコードリーダー	69800	+0002 +000139600 19951001 小林
2		T9510-A-02	H274920183	バーコードリーダー	69800	+0001 +000069800 19951011 田畑
3		T9510-B-01	H637292735	高速クラスキャナ	80000	+0001 +000090000 19951003 相原
4		T9510-B-02	H637292735	高速クラスキャナ	80000	+0010 +000900000 19951009 清水

【レコード形式画面】  
レイアウトを意識した編集ができます。

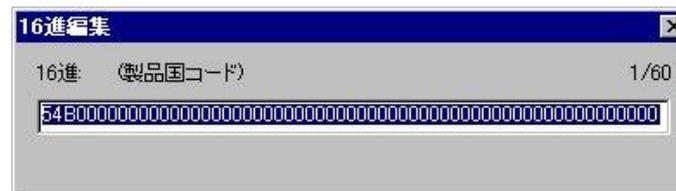
アイテム番号	アイテム名	属性	相番	データ内容
01	売上レコード		1	
02	伝票番号	X(10)	1	T9510-A-01
02	製品コード	X(10)	11	H274920183
02	製品名	N(10)	21	バーコードリーダー
		9(5)	41	69800
		S9(4)	46	+0002
		S9(9)	50	+000139600
		9(8)	59	19951001
		N(20)	67	小林機械株式会社

## 補助編集機能



### 【Unicode/マルチライン編集】

- ・文章などのデータを複数行で表示/編集できます。
  - ・Unicode固有文字などの表示/入力ができます。
- ※スタンドアロン/COBOL連携版 (Linux 64bit) は、Unicode固有文字を直接メイン編集画面で表示/入力できます。



### 【16進編集】

- ・文字列をバイナリ（16進数）で表示/入力できます。
  - ・データ検証や非文字など、特殊データの作成ができます。
- ※スタンドアロン/COBOL連携版は、機能アップした16進編集バーを提供しています。

# 7-1. 機能紹介 (データ作成/編集機能)

スタンドアロン版

COBOL連携版

RDB連携版

- 生成書式の設定機能を利用すると、データの自動生成、大量データの一括作成ができ、データ作成作業を軽減できます。

## 生成書式の設定

データ生成

生成書式一覧(L)

項目名	属性	書式	開始値	終了値	増分値	レベル	件数
伝票番号	X(10)	%5S	AAAAA	ZZZZZ	1		
製品コード	X(10)	%5S	AAAAA	ZZZZZ	1		
製品名	N(10)	%10N					
単価	9(5)	%5U					
売上数量	S9(4)	%4D					
売上高	S9(9)	%9D					

項目ごとに生成方法を指定します。

【書式の編集】  
生成方法をカスタマイズし、  
多様なデータを生成できます。

## 生成データ

COPYTI.DAT - SIMPLIA TF-LINDA

伝票番号: AAAAA

項目名	ステータス	伝票番号	製品コード	製品名	単価	売上数量	売上高	売上年月日	顧客
属性		X(10)	X(10)	N(10)	9(5)	S9(4)	S9(9)	9(8)	N(20)
相番		1	11	21	41	46	50	59	87
1	追加	AAAAA	AAAAA	ああああああああ	00001	+0001	+000000001	00000001	あ
2	追加	AAAAB	AAAAB	い	00002	+0002	+000000002	00000002	い
3	追加	AAAAC	AAAAC	し	00003	+0003	+000000003	00000003	し
4	追加	AAAAD	AAAAD	ろ	00004	+0004	+000000004	00000004	ろ
5	追加	AAAAE	AAAAE	う	00005	+0005	+000000005	00000005	う
6	追加	AAAAF	AAAAF	え	00006	+0006	+000000006	00000006	え
7	追加	AAAAG	AAAAG	え	00007	+0007	+000000007	00000007	え
8	追加	AAAAH	AAAAH	お	00008	+0008	+000000008	00000008	お
9	追加	AAAAI	AAAAI	お	00009	+0009	+000000009	00000009	お
10	追加	AAAAJ	AAAAJ	か	00010	+0010	+000000010	00000010	か
11	追加	AAAAK	AAAAK	か	00011	+0011	+000000011	00000011	か
12	追加	AAAAL	AAAAL	き	00012	+0012	+000000012	00000012	き
13	追加	AAAAM	AAAAM	ぎ	00013	+0013	+000000013	00000013	ぎ
14	追加	AAAAN	AAAAN	<	00014	+0014	+000000014	00000014	<
15	追加				00000	+0000	+000000000	00000000	



CSV形式ファイルへ出力することも可能です。  
※RDB連携版のみの機能

# 7-2. 機能紹介 (データ検証機能)

スタンドアロン版

COBOL連携版

RDB連携版

- 豊富なデータ抽出機能を利用すると、対象データの絞り込みが柔軟かつ容易に行えます。

## スタンドアロン版、COBOL連携版

## RDB連携版

テストケース選択 (v1イリ)

データファイル名  
フォルダ: C:\Sample\TF-LINDA  
ファイル名: COPYT1.DAT

データファイルの編集モード  
 更新(U)  表示(V)  追加(D)

テストケース情報  
テストケースの設定(T)...

フォーマット情報  
ファイル名: COPYT1.COB  
レコード名: 売上レコード  
レコード長: 500  
ファイル種別: COBOL登録集  
バイトリ: WORD  
アイテムセレクト(M)...

データファイル情報  
ファイル編: ...  
レコード形: ...  
レコード長: ...  
最小レコ: ...  
キー情報: ...  
コード情報: シフトJIS

条件設定  
確定条件一覧(L)  
伝票番号 完全一致 T9510-A-01

演算子(M): 完全一致  
条件値(K): T9510-A-01

更新(U) ↑ 削除(D)

OR(O)

項目選択(S)...

OK キャンセル ヘルプ

・ 指定した条件に一致するレコードのみ表示できます。  
・ 対象となるデータの絞り込みが容易に行えます。

・ 全件抽出 (最大10万件)  
・ 格納順範囲抽出  
・ データ条件抽出 (※)

※ 【データ条件抽出】  
データの内容をキーとして  
より細かな絞り込みが  
できます。  
ただし、スタンドアロン版  
のみ利用できます。

テストケース選択

表名  
スキーマ名: TEST\_SC2

抽出条件(T): 条件A\*カン1

WHERE句条件指定  
条件設定(W)...

条件内容  
消費税 > 100  
OR 数量 <= 2000

列選択  
 全列(A)

コメント:

条件設定  
確定条件一覧(L)  
消費税 > 100  
OR 数量 <= 2000

演算子(M): 100

条件値(K):

更新(U) 追加(D) 削除(D)

列選択(S)...

条件式(C):

コメント(Q):

OK キャンセル ヘルプ

・ 全件抽出 (最大10万件)  
・ 選択列のみ抽出  
・ 抽出条件による抽出  
・ 抽出結果のソート機能

【抽出条件の設定】  
SQL文のWHERE句に指定  
できる条件を設定して絞り  
込みを行います。

# 7-2. 機能紹介 (データ検証機能)

スタンドアロン版

COBOL連携版

RDB連携版

- 印刷機能を利用すると、編集画面の対象データを一覧形式で印刷できます。
- 印刷物は机上検証や、納品ドキュメントとして利用できます。

**【編集画面】**

伝票番号: T9510-A-01

項目名	スリーヌ	伝票番号	製品コード	製品名	単価	売上数量	売上高	売上年月日	顧客名
属性		X(10)	X(10)	N(10)	9(5)	S9(4)	S9(9)	9(8)	N(20)
相番		1	11	21					
1		T9510-A-01	H274920183	バーコードリーダー	8				
2		T9510-A-02	H274920183	バーコードリーダー	8				
3		T9510-B-01	H637292735	高速カラスキャナ	9				
4		T9510-B-02	H637292735	高速カラスキャナ	9				
5		T9510-B-03	H63729273	高速カラーキャナ	9				
6		T9510-C-01	H748446290	スキャナ接続ボード	3				
7		T9510-D-01	H77293855	増設光ディスク	9				
8		T9510-D-02	H77293855	増設光ディスク	9				
9		T9510-E-01	H882743638	日本語キーボード	0				
10		T9510-E-02	H882743638	日本語キーボード	0				
11		T9510-E-03	H882743638	日本語キーボード	0				
12		T9510-F-01	H893822833	マウスMA-1S	0				

**【印刷プレビュー画面】**

印刷(I)... 前ページ(P) 次ページ(N) 拡大(M) 縮小(R) 閉じる(C)

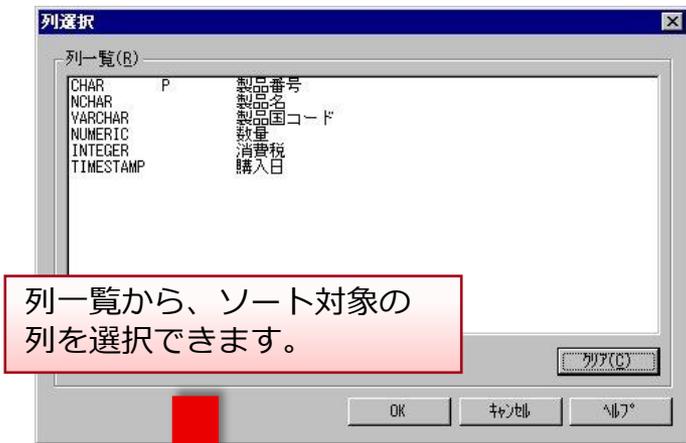
COPYT1.DAT 2019/05/08 16:43:07

項目名	スリーヌ	伝票番号	製品コード	製品名	単価	売上数量	売上高	売上年月日	顧客名
属性		X(10)	X(10)	N(10)	9(5)	S9(4)	S9(9)	9(8)	N(20)
相番		1	11	21					
000001		T9510-A-01	H274920183	バーコードリーダー	69800	+0002	+000139500	19951001	小林機械株式会社
000002		T9510-A-02	H274920183	バーコードリーダー	69800	+0001	+000059800	19951011	田嶋機器株式会社
000003		T9510-B-01	H637292735	高速カラスキャナ	90000	+0001	+000090000	19951003	相原製作所
000004		T9510-B-02	H637292735	高速カラスキャナ	90000	+0010	+000900000	19951009	清水広告株式会社
000005		T9510-B-03	H63729273	高速カラーキャナ	90000	+0002	+000180000	19951012	小林機械株式会社
000006		T9510-C-01	H748446290	スキャナ接続ボード	30000	+0002	+000060000	19951012	小林機械株式会社
000007		T9510-D-01	H77293855	増設光ディスク	99000	+0002	+000198000	19951013	沢田通商株式会社
000008		T9510-D-02	H77293855	増設光ディスク	99000	+0010	+000990000	19951015	丸山電子機器株式会社
000009		T9510-E-01	H882743638	日本語キーボード	08800	+0012	+000105600	19951003	黒沢法律事務所
000010		T9510-E-02	H882743638	日本語キーボード	08800	+0020	+000176000	19951015	坂上建設株式会社
000011		T9510-E-03	H882743638	日本語キーボード	08800	+0100	+000880000	19951017	山下通商機器株式会社
000012		T9510-F-01	H893822833	マウスMA-1S	03500	+0012	+000042000	19951003	黒沢法律事務所
000013		T9510-G-01	H918274828	キーボード防塵カバー	02600	+0010	+000026000	19951027	東京文具販売株式会社
000014		T9510-G-02	H918274828	キーボード防塵カバー	02600	+0005	+000013000	19951030	田町機械工業株式会社

データ内容を項目区切りや16進形式など、必要に応じた形で印刷できます。

# 7-2. 機能紹介 (データ検証機能)

- ソート機能を利用すると、対象データの並び替えができ、目的のデータを容易に特定できます。



列一覧から、ソート対象の列を選択できます。

指定された項目のデータ値により昇順・降順にレコードの並び替えができます。  
※データのソートは、データの抽出時に行っています。

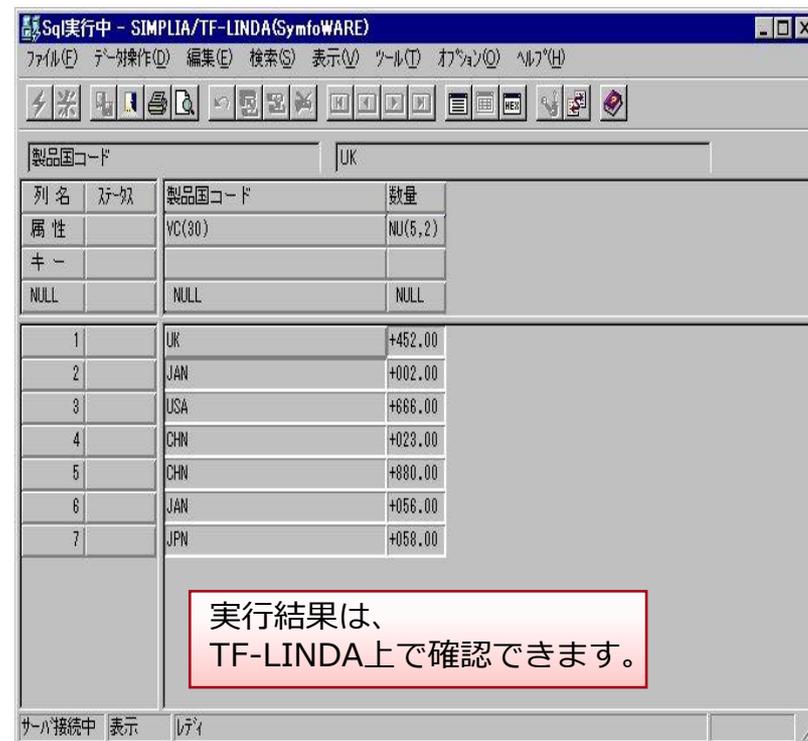
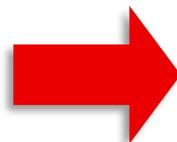
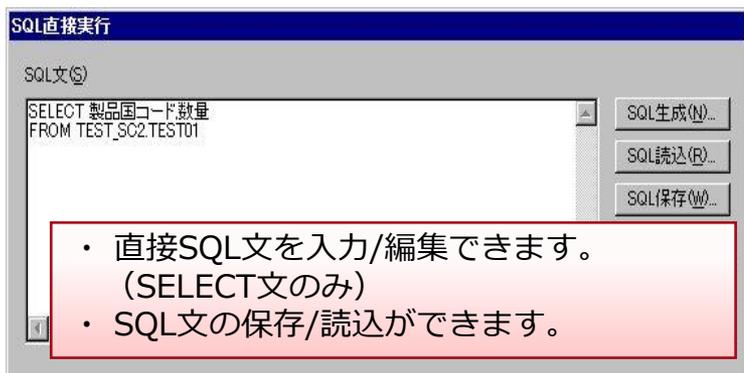
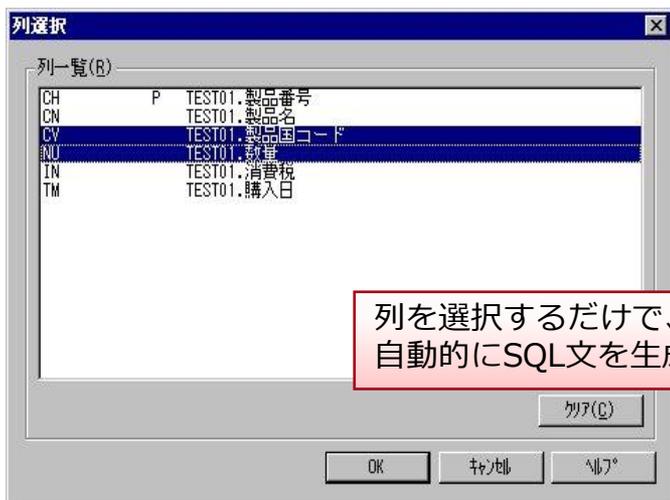


列名	タイプ	製品番号	製品名	製品国コード	数量	消費税	購入日
属性		CH(10)	NC(10)	YC(30)	NUM(5,2)	IN	TS
キー		P					
NULL		NOT	NULL	NULL	NULL	NULL	NULL
1		00002	ごま	UK	+452.00	+0000000250	1999-07
2		00004	もずく	JAN	+002.00	+0000000050	1998-11
3		00007	クリーム	USA	+666.00	+0000048561	2002-01
4		00006	にんにく	CHN	+029.00	+0000000250	1977-06
5		00005	くり	CHN	+880.00	+0000025600	1996-04
6		00001	りんご	JAN	+056.00	+0000002560	2000-12
7		00003	まりも	JPN	+058.00	+0000000260	1997-06

# 7-2. 機能紹介 (データ検証機能)

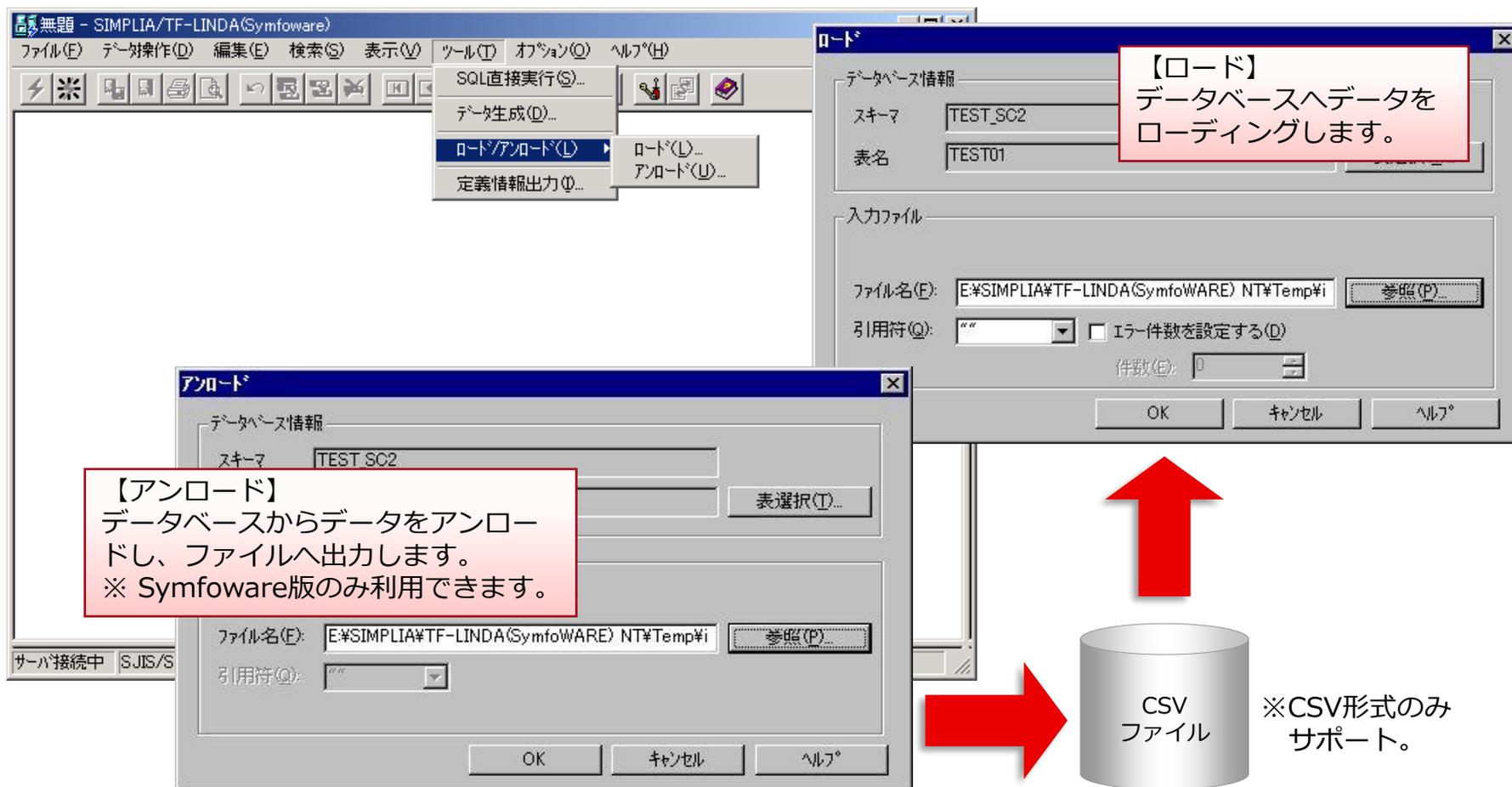
RDB連携版

- SQL文の直接実行機能を利用すると、データ抽出までのユーザ操作の軽減、および既存SQL文の読込実行などの検証作業を効率化できます。



# 7-3. 機能紹介 (データベースサポート機能)

- データベースの機能を利用すると、データベースへの直接ロード/アンロードができます。これによりコマンド発行、データ転送作業が省略でき、作業を効率化できます。



- データベースの機能を利用すると、煩雑なデータベースコマンドを利用することなく、定義情報（表一覧/列一覧/インデックス一覧）を容易に確認できます。

The screenshot shows the '定義情報出力' (Export Definition Information) dialog box on the left and a Microsoft Excel spreadsheet on the right. The dialog box has fields for 'データベース名' (SIMP\_DB2) and 'スキーマ名' (TEST\_SC2). Under '出力先ファイル', the '表一覧情報(T)' checkbox is checked, and the 'ファイル名(G):' field contains 'E:\SIMPLIA\TF-LINDA(SymfoWARE) NT\\*Tem'. The Excel spreadsheet, titled 'Microsoft Excel - imfo.csv', displays a list of tables with columns for '所有者' (owner), '表名' (table name), and '種別' (type). The data rows are as follows:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	所有者	表名	種別								
2	ADMINIST	ATT_CHAI	表								
3	ADMINIST	GRANT_S	表								
4	ADMINIST	TEST01	表								
5	ADMINIST	TEST02	表								
6	ADMINIST	TEST03	表								
7	ADMINIST	TEST04	表								
8	ADMINIST	TEST05	表								
9	ADMINIST	TEST06	表								
10	ADMINIST	TEST07	表								
11	ADMINIST	TEST08	表								
12	ADMINIST	TEST12	表								
13	ADMINIST	TEST14	表								
14	ADMINIST	TEST15	表								
15	ADMINIST	TEST16	表								
16	ADMINIST	TEST18	表								
17	ADMINIST	TEST19	表								

データベース、スキーマ内の下記情報をファイルへ出力します。

- ・表一覧情報
- ・列一覧情報
- ・インデックス一覧情報

情報はCSVファイル形式で出力されます。他のアプリケーションでも利用できます。

# 7-4. 機能紹介 (監査・ログ機能)

COBOL連携版

RDB連携版

- 監査・ログ機能を利用すると、セキュリティのための接続中ユーザ情報、使用中資源情報などのアクセスログが確認できます。

```
System      :FUJITSU Software SIMPLIA TF-LINDA(COBOL) (64bit)
Version     :V81L10(81.10.0.0)
Date        :2020/01/17 15:50:00
Connect User :2
DataCount   :1
```

## USER INFORMATION

-----  
UserID/IPAddress/ProcessNO:UserA/::ffff:1.xx.xx.11/555  
-----

UserID/IPAddress/ProcessNO:UserB/::ffff:1.xx.xx.22/777  
-----

## DATA INFORMATION

-----  
UserID/IPAddress/ProcessNO:UserA/::ffff:1.xx.xx.11/555  
AccessType:Update Data  
FileName:/A.DAT  
-----

接続しているユーザの情報、使用している資源情報などを確認できます。

誰 (ユーザID) が、

どの端末 (IPアドレス) から、

どのファイル (ファイル名) に

何を (参照?更新?) しているか



# 7-5. 機能紹介 (データインポート・エクスポート機能)

スタンドアロン版

COBOL連携版

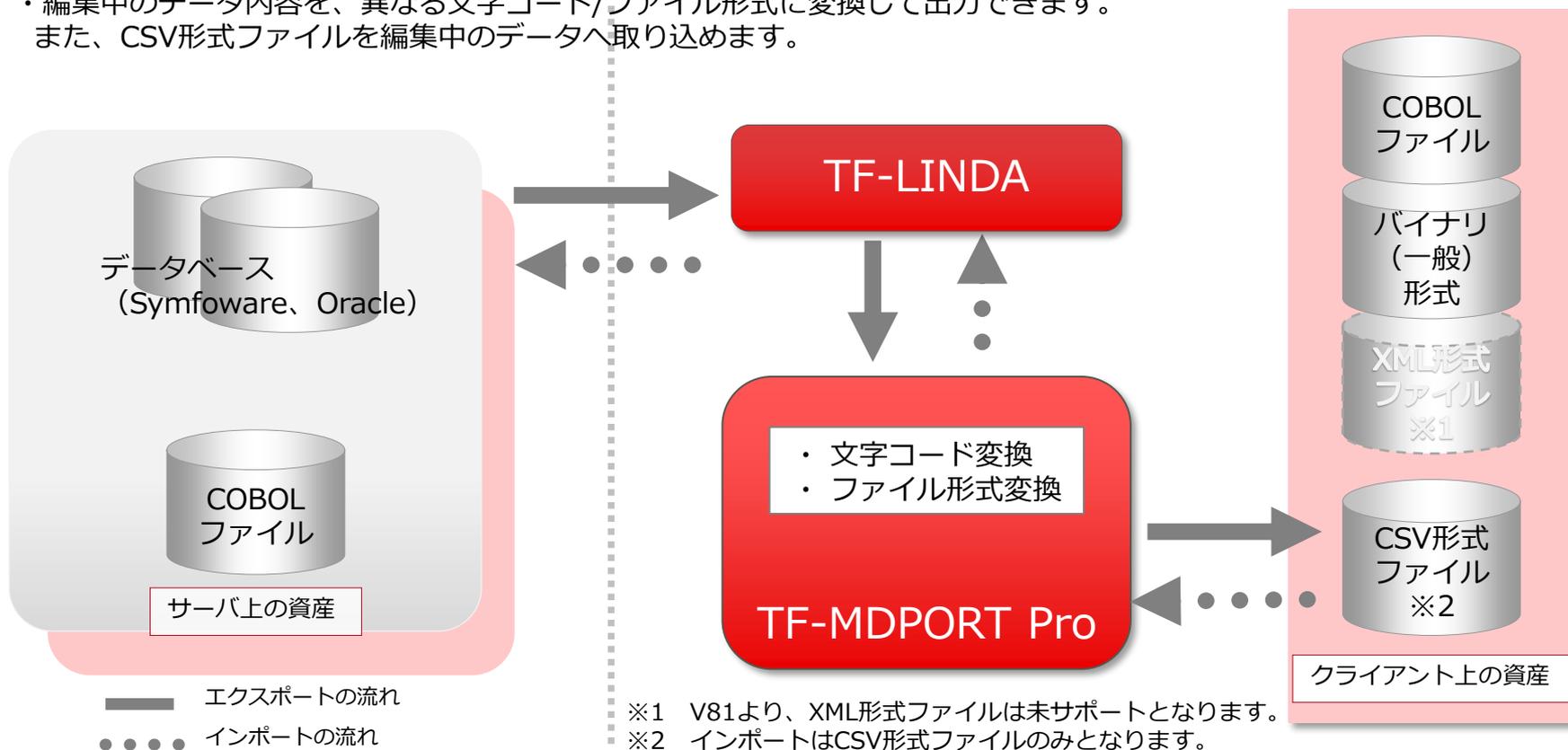
RDB連携版

- データインポート・エクスポート機能を利用すると、TF-MDPORT Proと連携して異なる文字コード/ファイル形式への変換ができます。これにより、既存データからの流用や、他システムへのデータ移行など、多様な用途に利用できます。

サーバ

クライアント

- 編集集中のデータ内容を、異なる文字コード/ファイル形式に変換して出力できます。また、CSV形式ファイルを編集集中のデータへ取り込めます。



# 8. プログラムサポートサービス

～ お客様のご要望にお答えします ～



## Q/Aサービス

製品の使い方や適用例について詳しく聞きたい

## 無償レベルアップサービス

レベルアップ版は無償で提供して欲しい

## 最新情報のご案内サービス

新製品情報、バージョン/レベルアップ情報を知りたい

## トライアルユースサービス

導入検討中のSIMPLIA製品を試用したい

## 製品媒体再提供サービス

紛失・破損した製品媒体を再提供して欲しい

## 障害情報通知サービス

導入製品の障害情報を提供して欲しい

SIMPLIAに関する最新の情報は、下記URLの富士通サイト内検索から「SIMPLIA」で検索してください。

URL : <https://www.fujitsu.com/jp/>

**Thank you**

